



Title	ゾンゴ・ハウサ語（ガーナ）の会話テクスト
Author(s)	松岡, 秀哉
Citation	スワヒリ&アフリカ研究. 2025, 36, p. 114-132
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/100839
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ゾンゴ・ハウサ語（ガーナ）の会話テクスト Dialog Texts of Zongo Hausa in Ghana

松岡 秀哉*
Matsuoka, Shuya

0. はじめに

スワヒリ語と並んでサブサハラ・アフリカを代表する言語の1つにハウサ語が存在する。アフロアジア語族チャド語派西チャド諸語に属するハウサ語は、ニジェール南部からナイジェリア北部のハウサラントを中心に約8000万人から1億人の話者を擁する大言語である¹⁾。その方言は、伝統的に東部方言（カノ方言、ザーリヤ方言など）と西部方言（ソッコト方言など）の2つに大きく分類されている。現在では、東部方言の1つであるカノ方言が標準ハウサ語（Standard Hausa）とされており、ナイジェリア国内のメディアだけではなくBBCなどの海外メディアのテレビ放送やラジオ放送において広く使用されている。特にナイジェリア国内では大手から地方紙に至るまでハウサ語の新聞が存在し、また1990年代には「ソーヤイヤー・ブックス」（恋愛本）と呼ばれる大衆本が流行するなど、活字メディアにおいても標準ハウサ語がある程度使用されている（塩田 2010: 2）。

ハウサ語は、カノやソッコトといったハウサラントの伝統的な都市だけではなく、西アフリカの大都市や北東アフリカのスーダン²⁾に存在するハウサ・ディアスポラ（ハウサ人コミュニティ）において、第1言語（母語）として話されている。またハウサラントの周囲（ニジェール川とベヌエ川以北のナイジェリア全域、カメリーン北部からチャド西部など）ではハウサ語を地域共通語（リンガフランカ）とする地帯が広がっており、第2言語あるいは第3言語として広く話されている（松下 1992: 82; 塩田 2010: 1）。

これに加えて、ハウサラントから地理的に隔絶したガーナの都市部には、ハウサ語の言語島ともいえるゾンゴ（zongo）³⁾と呼ばれるムスリム居住区が点在しており、ハウサ語が異なる民族間の共通語として話されている。ガーナでは、ゾンゴ内で話されるハウサ語の定まった呼称は特に存在しないため、本稿ではゾンゴ内の共通語であり多くの話者にとって第2言語として使用されるハウサ語に「ゾンゴ・ハウサ語」("Zongo Hausa") という名称を付ける⁴⁾。

* 大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程 (Graduate School of Humanities, Osaka University)

1) 最新の *Ethnologue* 第27版 (Eberhard et al. eds. 2024) は、ハウサ語の話者人口を約8800万人と推定している。第3言語として話す話者も含めると、現在では1億人程度の話者がいると考えられる。

2) スーダンのハウサ・ディアスポラは、イギリスに敗れたソッコトの王の末裔や西アフリカからの人々巡礼の途中で定住した人々を起源としている。Abu-Manga (1999) はスーダン・青ナイル州のハウサ・ディアスポラの歴史と同地で話されるハウサ語変種について記述している。

3) ゾンゴという名称は、標準ハウサ語で野営地や隊商宿という意味の *zangô* と同源である。なお、現在ではゾンゴは北部からの移住者が多く集住する移民コミュニティとして認識されている。ゾンゴの社会的機能については、桐越 (2016, 2022) を参照。

4) ガーナでは各都市にゾンゴが存在するが、ゾンゴ・ハウサ語の詳細な地域差については未調査であり、今後の課題である。本稿は、クマシのゾンゴで実施した聞き取り調査に基づく。

これまでゾンゴ社会は、西アフリカ都市人類学研究の重要な焦点となってきた一方で (e.g., Scildkrout 2007; Pellow 2008; Pontzen 2021)、ゾンゴ・ハウサ語の言語資料は僅かで、その全体像は未だ不明である。そこで本稿では、これまでに筆者がガーナのクマシのゾンゴで収録した会話テクストを主に用いて、標準ハウサ語や他のハウサ語方言と対照しつつ、ゾンゴ・ハウサ語の言語特徴を簡単に整理することを目的とする。

1. ガーナの言語事情とガーナにおけるハウサ語

ガーナ国内で現在使用されている言語の数は、83である (Eberhard et al.eds.2024)⁵⁾。法的な位置付けは特になされていないものの、ガーナの事実上の公用語は英語であり、1957年にイギリスから独立して以降、立法、行政、司法などのあらゆる場面で英語が使用されている。英語以外にガーナでは多くの現地語が話されている。そのうちアカン語、ガ語、エウェ語、ダガーレ語、ダグバニ語、ゴンジャ語、カセム語、ダンメ語、ンゼマ語の9言語は政府後援言語（1951年に設立されたガーナ言語局において教材刊行のために選ばれた言語）としてメディアで使用され、学校で科目として教えられている（古閑 2022: 153–155）。ガーナの現地語の中でも、特にアカン語（ニジェール・コンゴ語族クワ語派）はガーナの広い地域で共通語として話されており、第2言語話者も含めるとガーナ国民の過半数によって話されている（古閑 2009: 467）。

ガーナ国内では、ハウサ語は約60万人の話者人口を擁する (Eberhard et al.eds.2024)。ハウサ語は、アカン語やエウェ語などとは異なり、学校で科目として教えられることはないが、特にゾンゴ内にはナイジェリアで出版されたハウサ語の書籍、標準ハウサ語によるテレビ放送やラジオ放送が存在する⁶⁾。なお、ハウサ語はガーナ土着の言語ではないものの、クマシに王都があるアシャンティ王国とハウサ諸王国間の各種交易⁷⁾において交易言語として使用されたり、植民地軍⁸⁾において共通語として使用されたりしたことで拡大したと考えられる。現在では、ハウサ語は基本的にガーナ在住のハウサ人による第1言語として、あるいはガーナ各地に点在するムスリム居住区ゾンゴにおける多様な民族間の共通語として使用されている。

⁵⁾ これにはガーナの現地語だけではなく、英語やフランス語などガーナの土着ではない言語や手話言語も含まれる。

⁶⁾ 調査協力者によると、ゾンゴの人々は日常的にナイジェリアのハウサ語テレビ放送や音楽を聴いているため、標準ハウサ語とゾンゴ・ハウサ語の差異についてはある程度意識している。また、クマシのゾンゴには Haske FM や Zuria FM といったゾンゴ・ハウサ語によるラジオ放送や、ゾンゴ・ハウサ語で歌う歌手も存在する。

⁷⁾ アシャンティ王国とハウサ諸王国間の交易とゾンゴの歴史的関係については、Wilks (1975: 256–261) 及び Schidkrout (2007: 67–74) を参照。

⁸⁾ 植民地軍ではハウサ語が共通語として使用されており、その言語資料は僅かに存在する。例えば、ゴールドコースト植民地警察 (Gold Coast Constabulary) におけるイギリス人士官向けのハウサ語の教科書として Rat (1889) があり、簡易的な文法説明と共にゴールドコースト植民地警察で勤務していたと考えられるハウサ人による自然談話とその英語訳が収録されている。なお、この軍内部で使用されていたハウサ語が、現在アクラやクマシのゾンゴで広く話されているハウサ語に影響を与えたと予想しているが、これについては別稿で詳しく論じたい。

ガーナのハウサ語研究に関しては、Zaria (1982: 177–183) がハウサ人とハウサ人以外によって第1言語として話されるハウサ語を「ガーナ方言」と呼び、その言語特徴について整理している。また、Sadat (2016) はガーナで母語話者が話すハウサ語を「ガーナ・ハウサ語」と呼び、ガーナのハウサ語にはハウサ語の「ガーナ方言」と呼べるものからピジンやクレオールに至るまで様々なレベルのものが存在するとしている。さらに Sadat (2023) では、ガーナにおけるハウサ語の社会言語学的状況を整理し、ガーナのハウサ語が英語や特にアカン語の影響を受けていると述べている。しかしながら、これまでの研究では第1言語としてのハウサ語が主として記述され、第2言語としてのハウサ語についてはごく断片的に報告されているだけである。また、アカン語と英語からの影響に関しても具体例が語彙の借用にとどまっているという課題が存在する。

2. ゾンゴ・ハウサ語の言語特徴

本節では、ゾンゴ・ハウサ語の言語特徴を整理する⁹⁾。まず、音韻的特徴としては、(1) のように放出音及び前声門化音が非放出音及び非前声門化音と合流することが挙げられる¹⁰⁾。

	SH	ZH	
(1) a.	kwai	kwai	「卵」
b.	tsuntsū	sunsu	「鳥」
c.	bērā	bēra	「ネズミ」
d.	kudī	kudi	「お金」

また、標準ハウサ語に存在する文法性の消失は様々なレベルにおいて生じる。(2) コピュラ、(3) リンカー（繫辞）、(4) 所有代名詞、(5) 一部の自然性を持つ名詞、(6) 疑問語、(7) 主語代名詞¹¹⁾において標準ハウサ語の男性形のみが使用されている¹²⁾。

⁹⁾ 本節で示したゾンゴ・ハウサ語の言語データは、全て筆者によるフィールドワークで収録したものである。それが第3節の会話テクストからの引用である場合は、対応する会話テクスト番号を逐一示す。標準ハウサ語の実例は特に断りがない限り、筆者の作例による。なお、本節以降、基本的に例文では標準ハウサ語を SH、ゾンゴ・ハウサ語を ZH と略す。また、本稿では、例文において低声調と下降声調を表記し、高声調については表記しないものとする。長母音については、母音上のマクロン記号によって表す。

¹⁰⁾ この音韻的特徴は、非母語話者によるハウサ語ではよくみられる現象である。

¹¹⁾ 主語人称標識と TAM からなるかばん形態 (portmanteau word) のことをハウサ語研究では伝統的に「主語代名詞」(subject pronouns) と呼んでいる。本稿では、この形態を「語」と認定できるかについては十分な議論を尽くせないので、便宜的に既存の術語に則り「語」として考える。

¹²⁾ ガーナでハウサ人が第1言語として話すハウサ語においても、自然性を持たない事物については、コピュラやリンカー（繫辞）において標準ハウサ語の男性形のみが使用される (Zaria 1982: 181–182)。また、筆者が 2024 年 8 月にカメリーンの首都ヤウンデのムスリム居住区であるブリケテリ街区 (Quartier Briqueterie) でハウサ人に対して聞き取り調査をした際、リンカー（繫辞）や所有代名詞において標準ハウサ語の男性形のみが使用されていた。

(2) SH. **shī bāhaushē nē.** 「彼はハウサ人です。」

3SG.M Hausa.M COP.M

SH. **ita bāhaushiyā cē.** 「彼女はハウサ人です。」

3SG.F Hausa.F COP.F

ZH. **ita bāhausà nē.** 「彼女はハウサ人です。」

3SG.F Hausa COP

(3) SH. **itāce=n kòkō** 「カカオの木」

tree.M=LIN.M cacao

SH. **gōna=r kòkō** 「カカオの畑」

farm.F=LIN.F cacao

ZH. **gōna=n kòkō** 「カカオの畑」(会話テクスト 16)

farm=LIN cacao

(4) SH. **ùbā=n=ā** 「私の父親」

father.M=LIN=1SG.POSS

SH. **uwā=t=ā**¹³⁾ 「私の母親」

mother.F=LIN.F=1SG.POSS

ZH. **mmā=n=ā** 「私の母親」

mother=LIN=1SG.POSS

(5) SH. **nī da=n Japan nē.** 「私(M.)は日本人です。」

1SG son.M=LIN.M Japan COP.M

SH. **nī 'ya=r Japan cē.** 「私(F.)は日本人です。」

1SG daughter.F=LIN.F Japan COP.F

ZH. **nī da=n Japan nē.** 「私(F.)は日本人です。」(会話テクスト 3)

1SG son=LIN Japan COP

「私は日本人です。」

¹³⁾ =t は=r (標準ハウサ語のリンカーの女性形) の基底形である。

- (6) SH. **yâu** **wàcè**¹⁴⁾ **rānā** **cè?**
 today which.F day.F COP.F

ZH. **yâu** **wànì** **rāna** **nè?**

today which day COP

「今日は何曜日ですか？」

- (7) SH. **ìnā** **yakè** **yànzú?** 「彼は今どこにいますか？」
 where 3SG.M.CONT now

SH. **yâyâ** **miyâ=r** **takè?** 「そのスープはどうですか？」
 how soup.F=DEF.F 3SG.F.CONT

ZH. **yâ** **miyâ=n** **yakè?** 「そのスープはどうですか？」(会話テクスト 12)
 how soup=DEF 3SG.M.CONT

さらに、ゾンゴ・ハウサ語は西部方言の言語特徴を持つ。例えば、(8) のように標準ハウサ語の3人称男性単数の所有代名詞は=**sà** であるが、ゾンゴ・ハウサ語では=**shì** である。これは西部方言でみられる形式である (cf. 松下 1991: 10)。また、(9) のように標準ハウサ語では近称の指示詞として **wannàn** が名詞に前置されるが、ゾンゴ・ハウサ語では **gà** が名詞に後置されることがある。この形式についても特に西部方言でみられる形式である (cf. 松下 1991: 9)。

- (8) SH. **gida=n=sà**
 house.M=LIN.M=3SG.M.POSS

ZH. **gida=n=shì**
 house=LIN=3SG.M.POSS
 「彼の家」

- (9) SH. **bābù** **gida=n** **àbinci** **cikin** **wannàn** **ùnguwa.**
 EXS.NEG house=LIN.M food in DEM.PROX quarter

ZH. **bâ** **restaurant** **ùnguwa=n** **gà.**
 EXS.NEG restaurant quarter=LIN DEM.PROX
 「この街区にレストランはありません。」(会話テクスト 5)

¹⁴⁾ 標準ハウサ語では、疑問語「どの」は **wànè** (M.) **wàcè** (F.) **wàdànnè** (PL.) と性や数によって語形が異なる。

なお、ゾンゴ・ハウサ語に特有と考えられる言語特徴としては、(10)~(12) のように語の短縮が頻繁にみられることが挙げられる。

- (10) SH. sànnu dà zuwā.

INTJ with come.VN

ZH. **san dà zuwà.** 「ようこそ。」(会話テクスト 1)

- (11) SH. nā ganī dà yawā.

1SG.PRF see with amount

ZH. **nā gagani**¹⁵⁾ dēwā.

1SG.PRF see many

「私は何度も見たことがあります。」(会話テクスト 15)

- (12) SH. yàyà kikè?

how 2SG.F.CONT

ZH. **yà kikè?** 「あなた(F.)はご機嫌いかがですか？」(会話テクスト 1)

また、ゾンゴ・ハウサ語に特有と考えられる現象として、一般疑問文(Yes-No 疑問文)において(13)・(14)のように疑問文標識である **àlân** が文頭に置かれることがある。

- (13) àlân kai da=n makaranta nè?

Q 2SG.M son=LIN school COP

「あなた(M.)は学生ですか？」(会話テクスト 3)

- (14) àlân àkwai restaurant nân?

Q EXS restaurant here

「この近くにレストランはありますか？」(会話テクスト 5)

この疑問文標識 **àlân** は、標準ハウサ語や他の諸方言に類似した形式がない。アカン語の疑問文標識 **anáá** に由来すると考えることもできるが、これは(15)のように文頭ではなく文末に置かれる点で異なる。

¹⁵⁾ ここでは動詞に重複が生じている (SH. **ganī** vs. ZH. **ga-gani**)。標準ハウサ語においてこのような動詞の重複はあまりみられない現象であるが、これが他の動詞で生じるかについては今後調査したい。

(15) アカン語の例

wó=yε ḥsúáñí anáá?

2SG=be student Q

「あなたは学生ですか？」(古閑・アンポンサー 2009: 19 を改変)

指示詞体系については、標準ハウサ語と大きく異なる特徴を持つ。例えば、(16) のように近称の指示詞として **wan** が使用される。

(16) SH. **wannàn** àbōkī=n=ā nè.

DEM.PROX friend.M=LIN.M=1SG.POSS COP.M

ZH. **wan** àbōkī=n=ā nè.

DEM.PROX friend=LIN=1SG.POSS COP

「これは私の友人です。」(会話テクスト 2)

また、(17) のように標準ハウサ語では遠称の指示詞として **can** が名詞に後置されるが、ゾンゴ・ハウサ語では **nan** が名詞に後置される。この指示詞 **nan** は、標準ハウサ語では近称の指示詞として使用される。

(17) SH. yanà bāyan fari=n gida=n can.

3SG.M.CONT behide white.M=LIN.M house=LIN.M DEM.DIST

ZH. yanà bāyan fari=n gida=n nan.

3SG.M.CONT back white=LIN house DEM.DIST

「あの白い家の後ろにあります。」(会話テクスト 5)

さらに (18) のように指示詞の複数形も標準ハウサ語とゾンゴ・ハウサ語で異なる。

(18) SH. wadànnân kuma mènē nè?

DEM.PROX.PL also what COP.M

ZH. warànga kuma mènē nè?

DEM.PROX.PL also what COP

「これらは何ですか？」(会話テクスト 6)

3. ゾンゴ・ハウサ語の会話テクスト

本節では、具体的な言語資料として、日本語で書かれたアカン語の教科書である古閑・アンポンサー(2009)に収録された19の会話テクストのゾンゴ・ハウサ語訳を示す¹⁶⁾。調査協力者はガーナ北部に位置するブルキナファソ及びトーゴとの国境の町ボク出身の20代のクサシ人の男性である。彼は第1言語としてクサシ語(ニジェール・コンゴ語族グル語派)を、第2言語としてハウサ語を話す。またガーナで広く共通語として機能しているアカン語を話す。特にクマシのゾンゴはアカン語圏に囲まれているため、ゾンゴの人々の多くはアカン語をある程度話すことができる。そのため調査¹⁷⁾においてはアカン語を媒介言語としてハウサ語の聞き取りを行い、特に初期調査においては古閑・アンポンサー(2009)の例文を便宜的に文法質問票として使用した。

【会話テクスト1】

Mari: **Kòfí!**

コフィ！

Kofí: **Mari, san dà zuwà.**

マリ、ようこそ！

Mari: **Kòfí, san dà rāna.**

コフィ、こんにちは！

Kofí: **sànnun kadē¹⁸⁾. yà kikè?**

こんにちは。ご機嫌いかが？

Mari: **inà lāfiyà sōsai. kai fa?**

元気。あなたは？

Kofí: **nī mā inà lāfiyà. mù jē gida.**

僕も元気。うちに行こう！

【会話テクスト2】

Kofí: **Kwāmè, san dà rāna.**

クワメ、こんにちは！

¹⁶⁾ ここで挙げる会話テクストの日本語訳は基本的に古閑・アンポンサー(2009)に則っているが、一部筆者が改変している。また会話の内容や背景が話者に伝わらなかった場合は、一部テクストの内容を筆者が改変もしくは省略している。会話テクスト番号は筆者が便宜的に付けたものであり、会話テクスト1が教科書の2課、会話テクスト2が教科書の3課に該当する。記述言語学的研究においては、例文に文法情報としてグロスを付けることが一般的であるが、現段階においては十分な分析が進んでいない箇所がいくつか存在するため、大きな課題であると認識はしているものの、全般的にグロスは付けていない。なお、当該言語の文法概要(文法スケッチ)は別稿でまとめる。

¹⁷⁾ 調査は2022年9月、2023年2-3月、2024年11月にクマシのaboabo地区で実施した。

¹⁸⁾ 標準ハウサ語の **sànnu kadai** (INTJ only) に由来すると考えられる。

Kwaame: **sànnun kadē. kanà lāfiyà?**

こんにちは。元気？

Kofi: **lāfiyà. kai fa?**

まあね。君は？

Kwaame: **lāfiyà.**

元気。

Kofi: **Kwāmè, wan àbōkīnā nè.**

クワメ、こちらは友達。

Kwaame: **kō?**

そう？

(マリに向かって)

Kwaame: **yà sūnankì?**

名前は何ですか？

Mari: **sūnānā Mari Suzuki. kai fa, yà sūnankà?**

鈴木マリです。あなたの名前は？

Kwaame: **sūnānā Kwāmè Òwusu. Mari, yàushè akà àifē kì?**

クワメ・オウスです。マリ、何曜日生まれですか？

Mari: **ran jumma.**

金曜日生まれです。

Kwaame: **shì dē, nà kirā kì dan jumma.**

では、アフィア¹⁹⁾と呼びましょう。

【会話テクスト3】

Kwaame: **Mari, inā kikà fito?**

マリ、出身はどこですか？

Mari: **nā fito dàgà Japan. nī dan Japan nè. kai kuma fa? kai dan àasantè nē?**

日本からきました。日本人です。あなたは？アサンテ人ですか？

Kwaame: **àà, nī bà dan àasantè ba nè. nī dan Nkàra nè.**

いいえ、アサンテ人ではありません。ガ人です。

Mari: **àlân kai dan makaranta nè?**

学生ですか？

¹⁹⁾ アカン人は、生まれた曜日によって異なる名前を持つ。各曜日には男性と女性の名前があり、例えばアフィアは金曜日生まれの女性の名前である。ここではアフィアが **dan jumma** (son Friday) と訳されているが、これは無理やりにアフィアを訳したもので、一般的には使用されない形式であると考えられる。

Kwaame: **ē, nī dan makaranta nè dàgà Cape Coast Sùàpon.**

はい、ケープコースト大学の学生です。

Mari: **kō? nī mā dan makaranta nè dàgà Legon Sùàpon.**

本当？私もレゴン大学²⁰⁾の学生です。

【会話テクスト4】

Kwaame: **Mari, àlân kin kòyu Twîn nan dàgà Legon Sùàpon?**

マリ、レゴン大学でアカン語を勉強しているんですか？

Mari: **àà, bàñ kòyu Twîn nan dàgà Legon Sùàpon.**

いいえ。レゴン大学でアカン語は勉強していません。

nā kòyu Hausâñ nan woren. kai kuma fa?

ハウサ語を勉強しています。あなたは？

Kwaame: **nā kòyu tûranci. kinà jîn Twi sòsai.**

英語を学んでいます。アカン語、とても上手ですね。

kin yi kòkari. inà sônkì àbuyà²¹⁾.

すごいなあ！友達になってください。

【会話テクスト5】

Mari: **àbuyà, yankùri, postofficen yakè?**

お姉さん、すいません、郵便局はどこですか？

Awuraa: **jè gâba, shé kì bi ago. yanà woren.**

まっすぐ行って、左に曲がりなさい。そこにあるわ。

Mari: **àlân àkwai restaurant nân?**

この近くにレストランはありますか？

Awuraa: **àà, bâ restaurant ùnguwangà.**

いいえ。この近くにレストランはないわ。

in dê kanà sôn àmpèsie nè àkwai wani.

アンペシ²²⁾なら1件あるけど。

Mari: **inà yakè?**

どこですか？

Awuraa: **yanà bâyan farin gidan nan.**

あの白い建物の後ろにあるわ。

²⁰⁾ レゴン大学とは、首都アクラのレゴン地区に本部があるガーナ大学のことである。

²¹⁾ 標準ハウサ語の **àbòkiyâ** 「(女性の) 友達」に対応する。ここでもある種の短縮が生じている。

²²⁾ アンペシとは、プランテンやヤムイモを茹でたものにシチューを添えて食べる料理のことである。

【会話テクスト6】

Kofi: **Mari, yankùri, zò kì gànì.**
マリ、ちょっと来てみて。

Mari: **mène nè? warànga kuma mène nè?**
何？これ何？

Kofi: **rōgò. dùndù dà màngkàni.**
キヤッサバ、ヤム、それにココヤムだよ。

wan rōgò nè. shī kuma dùndù.
これがキヤッサバ。それがヤム。

shī wan kuma màngkàni.
そしてこれがココヤムだよ。

Mari: **shì dē, wan kuma mène nè?**
じゃあ、これは何？

Kofi: **kòntomre nè. anà miyà dà shi.**
それはココヤムの葉っぱだよ。スープに使うんだ。

【会話テクスト7】

Mari: **màcè, ko lafiyà!**
おばさん、おはようございます²³⁾。

Awuraa: **lafiyà lau. gà kujèra. zàunà.**
おはよう。はい、椅子。座りなさい。

Mari: **nā gōdī.**
ありがとうございます。

(椅子の上の布を見て)

Mari: **yanà dà kyâu sòsai. kentengà na wàne nè?**
まあ、きれい。これ、誰のケンテ²⁴⁾ですか？

Awuraa: **na Kòfi nè.**
コフィのよ。

Mari: **kentengà na wàne nè?**
そしてそれは誰のケンテですか？

Awuraa: **nàwa nè.**
私のよ。

²³⁾ 標準ハウサ語における一般的な朝の挨拶としては、inā kwānā? や barkà dà sāfiyā. があるが、ゾンゴ・ハウサ語ではあまり使われない表現である。

²⁴⁾ ケンテとは、色鮮やかなパターンと幾何学模様が特徴の伝統的な織物のことである。

Mari: **yanà dà kyâu gèskiyâ.**

本当にきれいですね。

【会話テクスト8】

Mari: **mmà, bòdien nan nawà nē?**

おばさん、そのプランテンいくらですか？

Maame: **jā²⁵⁾ biyu.**

2セディよ。

Mari: **bà ni ukù. kòbin nan nawà nē?**

3つください。干ティラピアはいくらですか？

Maame: **jā hudu.**

4セディよ。

Mari: **yanà dà sàda kwarai. ràgè minì kàdan.**

高すぎます。ちょっとまけてください。

Maame: **kàwo jā ukù dà jā rabì.**

3セディ50ペソアちょうどい。

Mari: **tô. bà ni biyu. gà kudi.**

ええ。2つください。はい、お金。

Maame: **gà change.**

はい、おつり。

Mari: **nā gōdî sôsai.**

どうもありがとう。

【会話テクスト9】

Ama: **Mari, zò nân gà.**

マリ、ちょっと来て！

Mari: **mènè nè?**

何？

Ama: **wànkè minì rōgòn nan. kakì wànkè shi woren. wànkè shi nan.**

そのキャッサバを洗って。そこで洗わないで。向こうで洗って。

Mari: **nā kârè.**

終わったよ。

²⁵⁾ **jā** は「赤い」と言う意味の形容詞であるが、ガーナの旧1セディ札が赤色であるため、1セディが**jā**と呼ばれることがある。なお、現在のガーナの1セディはお札ではなく硬貨が一般的に使用されている。

Ama: **dìbi minì ruwa kàdan. bâ tankwa.**

ちょっと水をくんできて。トウガラシがないわ。

Mari, jè kàsuwa kì sau minì tankwa.

市場でトウガラシを買ってきて。

【会話テクスト 10】

Mari: **Ama, wànì àbinci kikè dafàwa?**

アマ、何の料理を作っているの？

Ama: **inà dafà sakora. kanà sòn sakora?**

フフを作っているのよ。フフは好き？

Mari: **ē. inà sòn sakora sòsai. yànzú mè kikè dafàwa?**

ええ、大好き。今、何をゆでているの？

Ama: **inà dafà rōgò dà bòdie. Mari, Kofí yanà kòyun àbù?**

キヤッサバとプランテンをゆでているの。マリ、コフィは勉強してる？

Mari: **àà, bē kòyun àbù. yanà dùban tībì.**

いいえ、勉強してないわ。テレビを見てるわ。

Ama: **yankùri, kírà minì shī.**

ちょっと、呼んできて。

【会話テクスト 11】

Ama: **nā dafà rōgò dà bòdie. bar mù dakà sakora!**

ヤムとプランテンがゆであがったわ。フフをつきましょう！

Mari: **bar in dakà sakora kàdan. yà akè rikàwa?**

ちょっと私にもフフをつかせて！こんな風に持つの？

Ama: **rikà shi akà.**

こんな風によ。

Mari: **yanà dà nauyī. dùba! nā iyàn dakà!**

重い。見て！できるわ！

Ama: **kin yi kòkari! in kin gáji, bari kofí yà dakà.**

すごいじゃない！疲れたら、コフィにやらせて。

(コフィ、マリに代わる)

Ama: **mun kārè àbincin.**

できたわ。

Mari: **inà jín yunwà sòsai! mù ci àbinci!**

すごくおなかがすいた！食べましょう！

【会話テクスト 12】

- Ama: **Mari, yà miyàn yakè?**
マリ、スープはどう？
- Mari: **yanà dà dādi sòsai.**
とてもおいしいわ。
- Ama: **bē dà zāfī sòsai?**
辛すぎない？
- Mari: **yanà dà zāfī kàdan. àmmā inà sòn mei zāfī.**
少し辛いわ。でも私、辛いものが好きなの。
- Ama: **kà ribi dùndù kàdan kì kārà.**
ヤムももう少しどうぞ。
- Mari: **nā gōdī. yankùri, bà ni kàramin dùndùn.**
ありがとう。その小さいヤムをちょうだい。
- Ama: **Mari, tàunà sakoran! hàdiyè!**
マリ、フフを噛んじやだめよ！飲み込みなさい！
- Mari: **anà hadiye sakora nè?**
フフを飲み込むの？

【会話テクスト 13】

- Kofi: **Mari, inā kikà jē jiyyà?**
マリ、昨日どこに行ったの？
- Mari: **nā jē shāgon sīdī cikin kùmāsi.**
クマシの CD ショップに行ったの。
- Kofi: **mè kikà sei?**
何を買った？
- Mari: **nā sei kàsētùn Kwadwo Antwi kàdan.**
コジョ・アンチュイの CD を何枚か買ったわ。
- Kofi: **bar in dūbà! kinà sòn wākan Kwadwo Antwi? àlân an regè mikì?**
見せて！コジョ・アンチュイの歌が好きなの？まけてくれた？
- Mari: **àà, bà regè ba.**
ううん、まけてくれなかったわ。
- Kofi: **mè kuma kikà sei?**
他に何を買った？
- Mari: **bàn sei kōmi ba.**
他には買ってないわ。

【会話テクスト 14】

- Mari: **Kòfì, gòbe ìnā zâ kà?**
コフィ、明日はどこへ行くの？
- Kofi: **góbe nâ jē kùmāsì. àkwai makōkī.**
明日はクマシに行くんだ。お葬式があるんだよ。
- rāfānīnā yā ràsu.**
僕のおじさんが亡くなったんだ。
- Mari: **allà yà ji kânhshì. yàushè yā mutù?**
まあ、ご愁傷さま。いつ亡くなつたの？
- Kofi: **bāyan bakwài biyu.**
2週間前。
- Mari: **àlân mmà tâ jē wani?**
お母さんも行くの？
- Kofi: **àà, bā tâ zuwà. tanà dà aikin yi.**
ううん、行かない。仕事があるから。
- Mari: **shì de nī dà kai mun jē.**
じゃあ、私も一緒に行く。
- Kofi: **tô. kinà dà bakin zānì kō jā?**
いいよ。赤か黒の布²⁶⁾持つてる？

【会話テクスト 15】

- Kofi: **Mari, kin tabà zuwà Ntònso?**
マリ、ントンソに行ったことある？
- Mari: **àà, bàn tabà zuwà Ntònso ba.**
いいえ、ントンソに行ったことはないわ。
- nā san yā ci sūnā cikin zánnukan àdìnkra.**
アディンクラ布²⁷⁾作りで有名なのは知ってるけど。
- Kofi: **gèskiyā nè. kin tabà ganin àdìnkra?**
そのとおり。アディンクラは見たことある？
- Mari: **nā gagani dēwà.**
何度も見たことがあるわ。
- Kofi: **Mari, yâu, bari mù jē mù gani Ntònso?**
マリ、今日ントンソに行ってみる？

²⁶⁾ アカン人の喪服の色は赤か黒である。

²⁷⁾ アディンクラ布は、アディンクラと呼ばれるシンボルを施した布のことである。

Mari: **ē, mù jē!**
うん、行きましょう！

Kofi: **shì de, mun ci àbinci mun kari shē mù jē.**
じゃあ、食事が終わったら、出発しよう。

【会話テクスト 16】

Mari: **Kòfí, ìnā zâ kà?**
コフィ、どこ行くの？

Kofi: **zâ nì ìn gai dà kákánā dàgà Màmpòn.**
マンポンにいるおばあちゃんにあいさつに行くところ。

Mari: **nâ iyà ìn bī kà?**
一緒に行っていい？

Kofi: **tô. shì de mù jē mù sei kòbi.**
もちろん。じゃあ、干ティラピアを買いに行こう。
(コフィのおばあさんの家に到着)

Kofi: **kákā, ko lafiyyā.**
おばあちゃん、おはよう！

Nana: **lafiyyā lau, jíkánā.**
おはよう、孫や。

Kofi: **kákā, ìnā zâ kì?**
おばあちゃん、どこに行くの？

Nana: **zâ nì gōnan kòkōnā. zâ nì ìn yi nòma.**
カカオ畑に行くんだよ。草とりをしにね。

Kofi: **shì de zâ mù mù tānyē kì.**
じゃあ、僕たちも行って手伝うよ。

【会話テクスト 17】

Kofi: **nân nè gidan sarkī.**
ここが首長の家だよ。

Mari: **àlân àkwai sarkī?**
首長はいると思う？

Kofi: **yanà men kàman yanà nân. àmmā bàn tāma yanà nân gèskiyā ba.**
いるようだけど。でも本当にいるかは分からないな。
in dē yanà nân, àlân kanà sôn kai yi gaisuwā nè?
いたら、首長に挨拶したい？

Mari: **ē, inà sôn ìn gaishē sarkī.**

ええ、首長にあいさつしたいわ。

Kofi: **gaisuwā dē kâ iyà kà gaishē shì. àmmā bâ anyā kà yi màganà dà sarkī.**

あいさつはできるよ。でも、首長に直接話してはだめだよ。

【会話テクスト 18】

Kofi: **Mari, bari mù jē gidan sarkī Mànhyìa yâu?**

マリ、今日はマンシア宮殿に行こうか？

Mari: **mènē nè? mè akè yi woren?**

どうして？何があるの？

Kofi: **àkwai sannarwā. sarkin àasantè dà sàràkanshì zâ sù gàmu.**

評議会があるんだよ。アサンテ王や王たちが集まるんだ。

Mari: **nâ iyà ìn gani sarkin asantâwa?**

アサンテ王に会える？

Kofi: **ē, kâ iyà kà gani sarkin asantâwa yâu.**

うん、今日はアサンテ王に会えるよ。

Mari: **nâ iyà ìn gai dà shi?**

あいさつできる？

Kofi: **àà, bâ kâ iyàwa. in dē bà bâ kâ anyà ba, bâ kâ iyà kà gai dà shi.**

ううん、あいさつはできない。許可をもらえないとい、あいさつできないんだ。

Mari: **nâ iyà ìn yankâ shi fotò?**

写真、撮れる？

Kofi: **àà, bâ kâ iyàwa.**

ううん、だめ。

【会話テクスト 19】

(マリ、日本へ帰る準備をしている)

Kofi: **Mari, in kin kōmà Japan, mè zâ kì yi?**

日本へ帰ったら何をするの？

Mari: **kâ yi tàmbayà na farkō, yà ci ìn kārì Sùàpon tükùn.**

そうね、まず大学を卒業しないと。

Kofi: **in kin kārì Sùàpon, mè zâ kì yi?**

卒業したら何をするの？

Mari: **yànzú akà bàñ sanì ba.**

今は分からないわ。

- Kofi: zò ki yi aikì cikin Gānà. in kin yi akà, nā ji dādi.
ガーナに来て仕事をしてよ。そうすれば、うれしいな。
- Mari: ē, nâ kuma zō Gānà. in dē in nà kuma zō Gānà, mun jē wuri dēwā.
そうね、またガーナに帰ってくるわ。そしたらまた、いろんなとこ行こう。
- Kofi: tō.
もちろん。

4. おわりに

本稿では、ガーナのムスリム居住区であるゾンゴの共通語であり主に第2言語として使用されるゾンゴ・ハウサ語の言語特徴を整理し、簡易的ではあるもののその言語資料を提示した。本稿で挙げた共通語/第2言語としてのハウサ語だけではなく、ゾンゴ内にはナイジェリア出身のハウサ人が暮らしていることもあり、標準ハウサ語に近いハウサ語もある程度話されている。またハウサランドからゾンゴに移住したハウサ人が話すガーナのローカルなハウサ語も話されている。ゾンゴ・ハウサ語といっても、その内部には多様な変種(variety)が存在している。

今後の課題としては、多言語社会であるゾンゴの具体的な社会言語学的状況を明らかにするとともに、様々なハウサ語変種、それぞれの民族語、アカン語の間で生じているであろう多様な言語接触現象について記述を進めることである。

略語一覧

1, 2, 3: 人称、CONT: 繼続、COP: コピュラ、DEF: 定冠詞、DEM: 指示詞、DIST: 遠称、EXS: 存在詞、F: 女性、INTJ: 間投詞、LIN: リンカー、M: 男性、NEG: 否定、OBJ: 目的語、PL: 複数、POSS: 所有、PRF: 完了、PROX: 近称、Q: 疑問文標識、SG: 単数、VN: 動名詞、(-): 形態素境界、(=): 接語境界

謝辞

本研究は、科研費(19H01254)及び日本学術振興会特別研究員奨励費(24KJ1630)により研究費補助を受けています。また、これまで研究を通してお世話になった全ての方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

参考文献

- Abu-Manga, Al-Amin. 1999. *Hausa in the Sudan: Process of Adaptation to Arabic*. Köln: Rudiger Koppe Verlag.
- Eberhard, David M., Gary F. Simons & Charles D. Fennig (eds.) 2024. *Ethnologue: Languages of the World*. 27th edition. Dallas, Texas: SIL International. <http://www.ethnologue.com>.
- Pellow, Deborah. 2008. *Landlords and Lodgers: Socio-Spatial Organization in an Accra Community*. Chicago & London: The University of Chicago Press.
- Pontzen, Benedikt. 2021. *Islam in a Zongo: Muslim Lifeworlds in Asante, Ghana*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Rat, J. Numa. 1889. *The Elements of the Hausa Language, or a Short Introductory Grammar of the Language*. London: Waterlow & Sons, Printers, London Wall.
- Sadat, Mohammed. 2016. *Some Aspects of the Phonology and Morphology of Ghanaian Hausa*. Saarbrücken: Lambert Academic Publishing.
- Sadat, Mohammed. 2023. “Sociolinguistic Aspects of the Spoken Version of Hausa in Ghana” *Ghana Journal of Linguistics*, 12: 1–23.
- Schidkrout, Enid. 2007. *People of the Zongo: The Transformation of Ethnic Identities in Ghana*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Wilks, Ivor. 1975. *Asante in the Nineteenth Century: The Structure and Evolution of a Political Order*. Cambridge & New York: Cambridge University Press.
- Zaria, Ahmadu B. 1982. “Issues in Hausa Dialectology”, Doctoral dissertation, Indiana University.
- 桐越仁美. 2016. 「コーラナツツがつなぐ森とサバンナの人びと: ガーナ・カカオ生産の裏側で」 重田眞義・伊谷樹一（編）『争わないための生業実践: 生態資源と人びととの関わり』（アフリカ潜在力シリーズ第4巻）pp.85–118. 京都大学学術出版会.
- 桐越仁美. 2022. 「ガーナ国内における季節労働の実態: アッパー・ウェスト州からの州外移住に着目して」『国士館人文学』12, 41–64.
- 古閑恭子. 2009. 「アカン語」 梶茂樹・中島由美・林徹（編）『事典 世界のことば 141』 pp.466–469. 大修館書店.
- 古閑恭子. 2022. 『フィールドワークではじめる言語学: なじみのない言語から考える』 ひつじ書房.
- 古閑恭子・アンポンサー, サミュエル. 2009. 『2009年度言語研修「アカン語」テキスト』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 塩田勝彦. 2010. 『ハウサ語基礎文法』 大阪大学出版会.
- 松下周二. 1991. 『ハウサ語ソコト方言』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 松下周二. 1992. 「ハウサ語」 亀井孝・河野六郎・千野栄一 (編)『言語学大辞典』(第3巻) pp.82–85. 三省堂.